

新型コロナウイルス感染症の影響により 資金調達をされた事業者さま向け アンケート集計結果

横浜の中小企業の「明日」を身近でサポート



令和3年11月19日
経営支援部 保証統括課

目次

- 1. アンケート概要 ……P. 1
- 2. 調査結果 ……P. 2
 - (1) 新型コロナウイルス感染症による今後の事業活動への影響について
 - (2) 令和3年度中の資金繰りについて
 - (3) 令和3年度中の金融支援の利用予定について
 - (4) コロナ禍において注力している取り組み
 - (5) コロナ禍において当協会に期待するもの
- 3. 参考
 - ・ご回答頂いたお客さまの構成(業種、年商、従業員数、資本金) ……P. 8

1. アンケート概要

- ◆調査目的 : 新型コロナウイルス感染症の影響により当協会の信用保証を利用して資金調達をされた事業者に対してアンケートを実施し、アフターコロナにおいて、当協会が検討していく各種施策の参考として、事業活動への影響、今後の見込みなどを聴取し、より効果的な施策を実施するため

- ◆調査期間 : 令和3年8月6日～令和3年8月31日

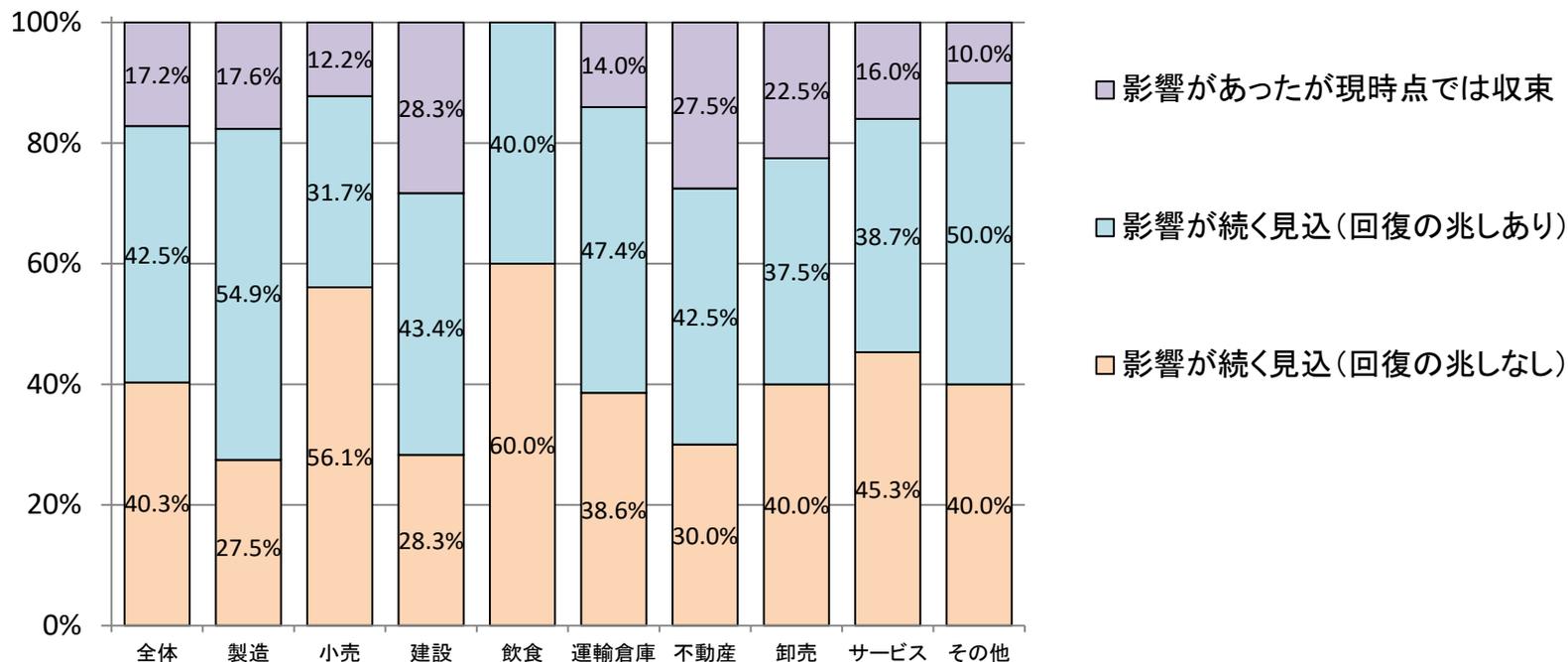
- ◆調査対象 : 令和2年10月1日～令和3年3月30日に保証制度『横浜市新型コロナウイルス感染症対応資金』の保証承諾をした中小企業者の中から無作為抽出した1,000事業者
(個人事業主:100事業者、法人900事業者)

- ◆調査方法 : 郵送による無記名アンケート

- ◆回答状況 : 回答率 : 42.3%

2. 調査結果

(1) 新型コロナウイルス感染症による今後の事業活動への影響について

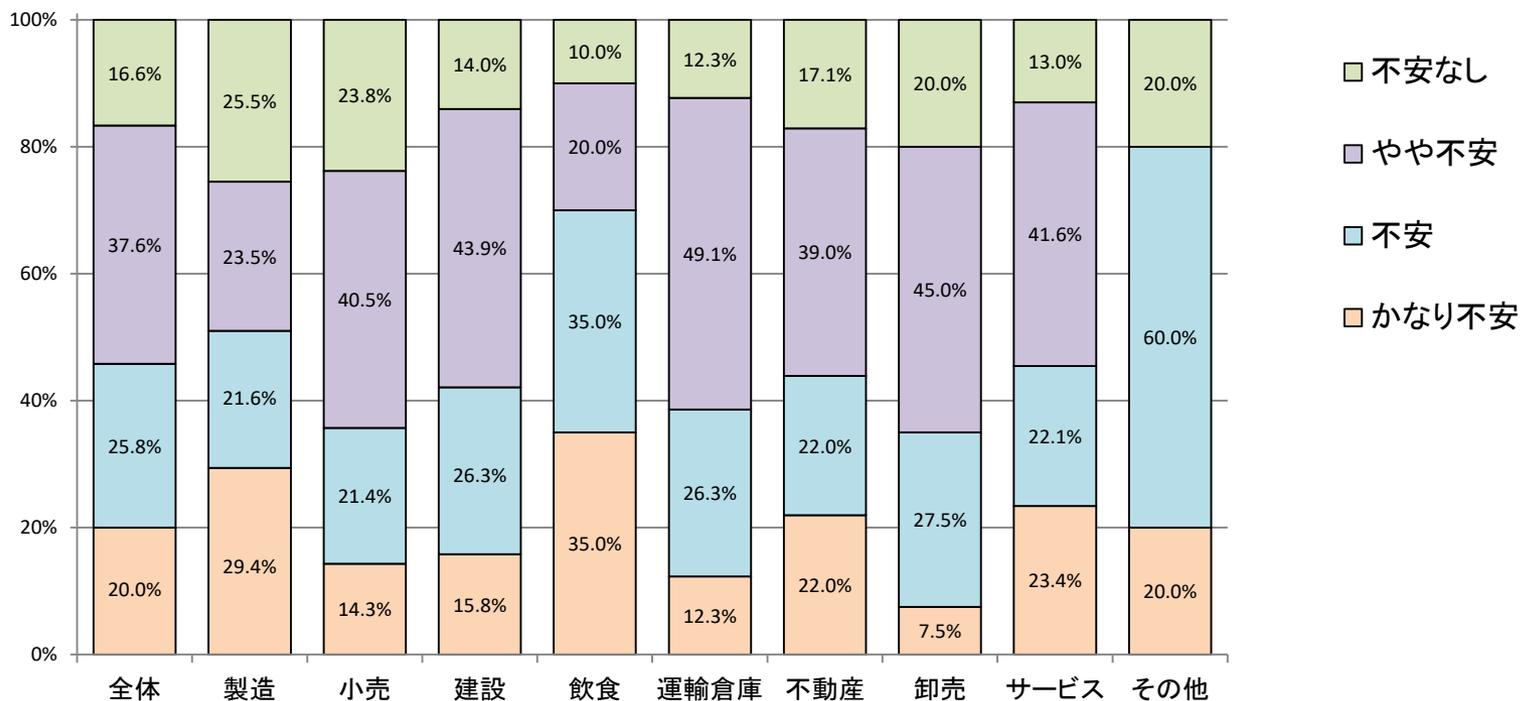


◇約6割の方が「影響が続く見込(回復の兆しあり)」、「影響があったが現時点では収束」と回答されました。

◇「影響が続く見込(回復の兆しなし)」の回答割合を業種別に見ると、小売業や飲食業の方は約6割であるのに対し、製造業や建設業、不動産業では約3割程と、業種によって差が見られました。

2. 調査結果

(2) 令和3年度中の資金繰りについて

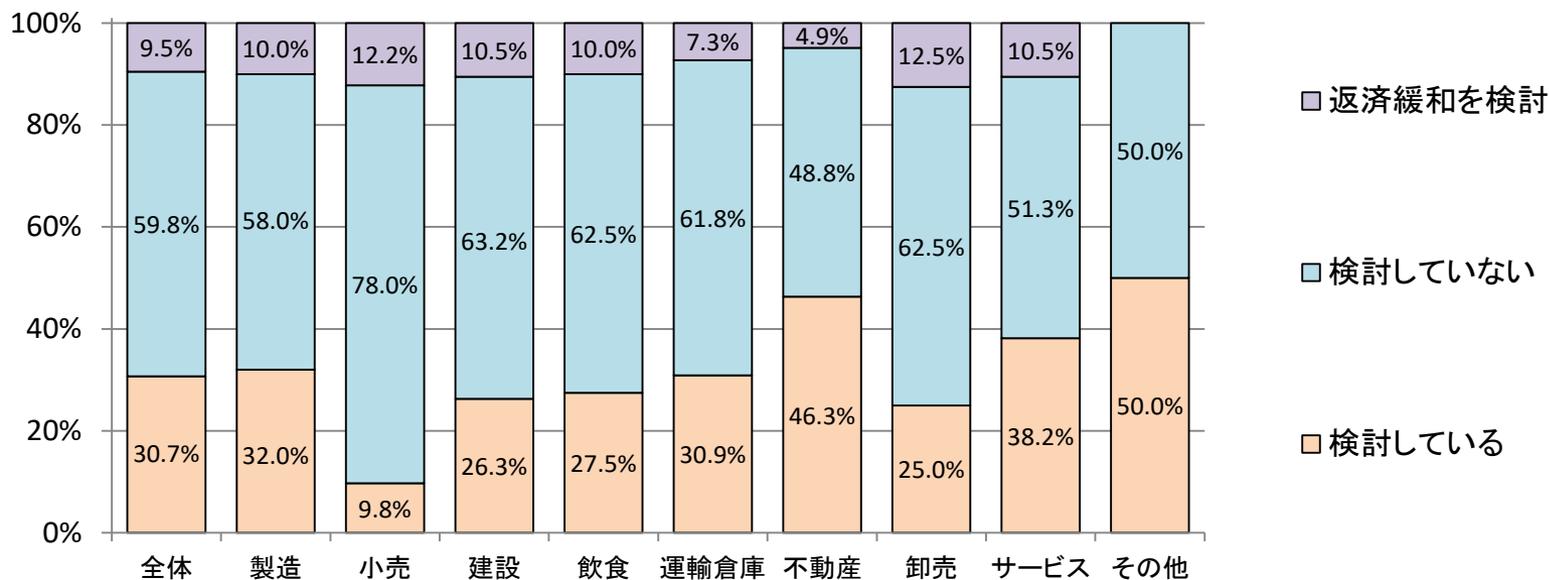


◇「かなり不安」、「不安」、「やや不安」の合計は83%と、8割以上の方が資金繰りに不安を抱えている状況にあります。

◇業種別に見ると、「不安」と回答した割合が最も高い業種が飲食業、最も低い業種が製造業という結果となりました。

2. 調査結果

(3) 令和3年度中の金融支援の利用予定について

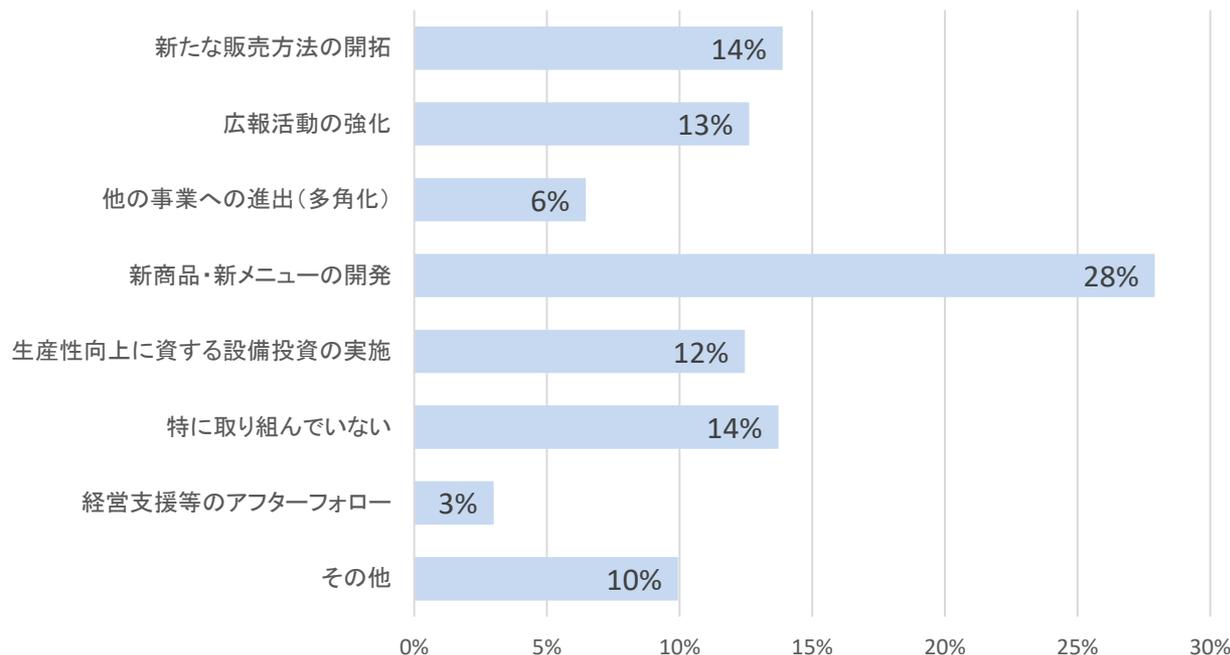


◇約6割の方が金融支援を「検討していない」と回答し、「返済緩和を検討している」は1割程度という結果となりました。

◇全業種において、金融支援を「検討していない」の割合が「検討している」の割合を上回りました。

2. 調査結果

(4) コロナ禍において注力している取り組み

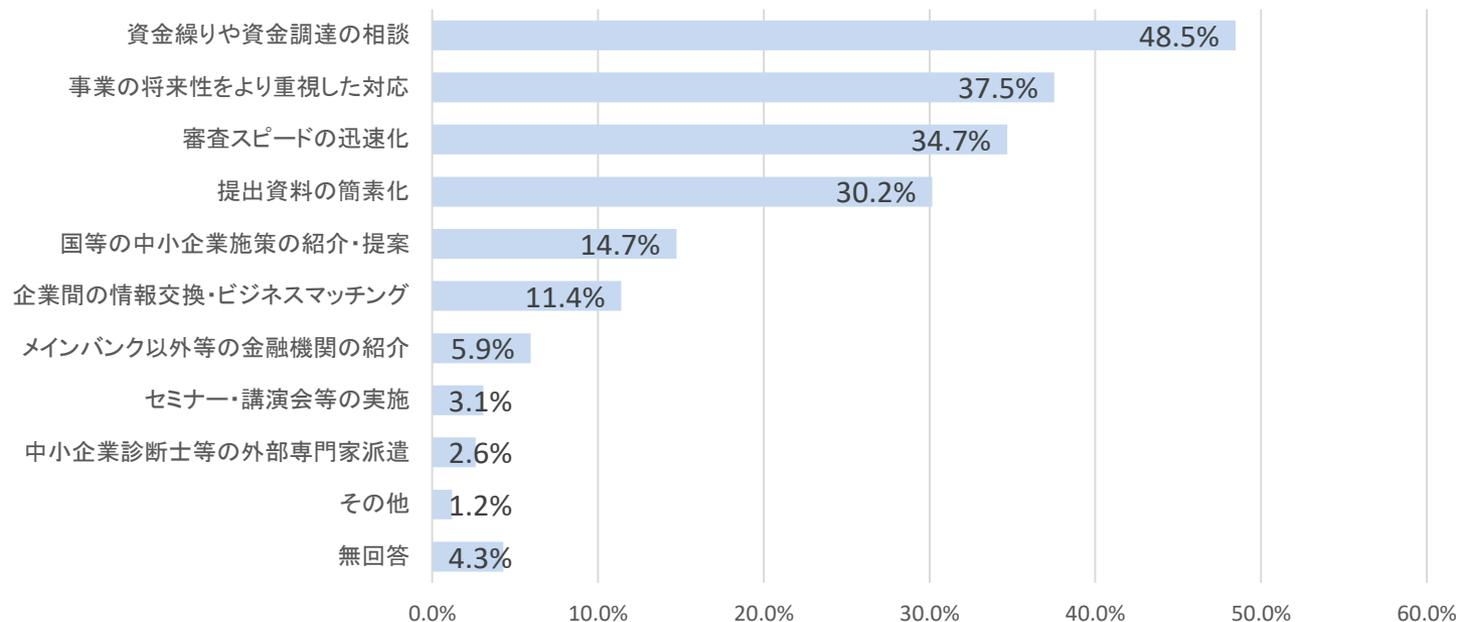


◇「新商品・新メニューの開発」が約3割を占め、最も割合の高い結果となりました。

◇「その他」には「コロナ対策」、「経費削減」、「新規取引先の開拓」等の回答がありました。

2. 調査結果

(5) コロナ禍において当協会に期待するもの



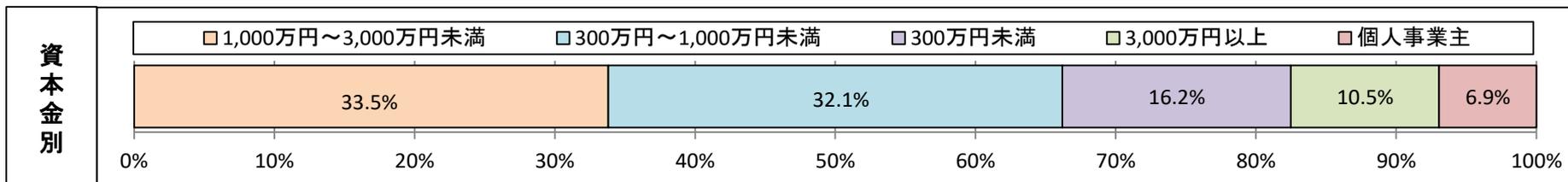
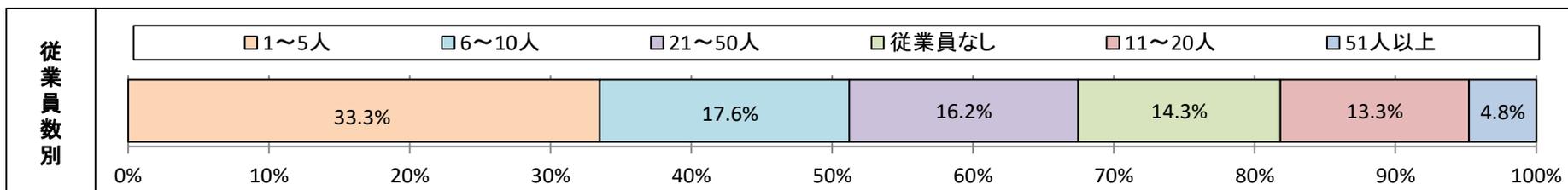
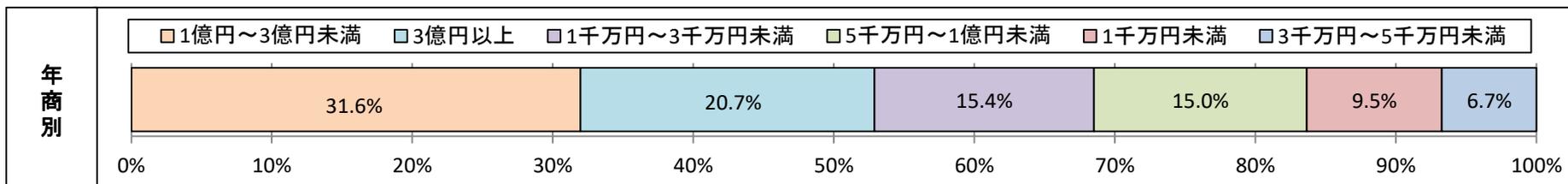
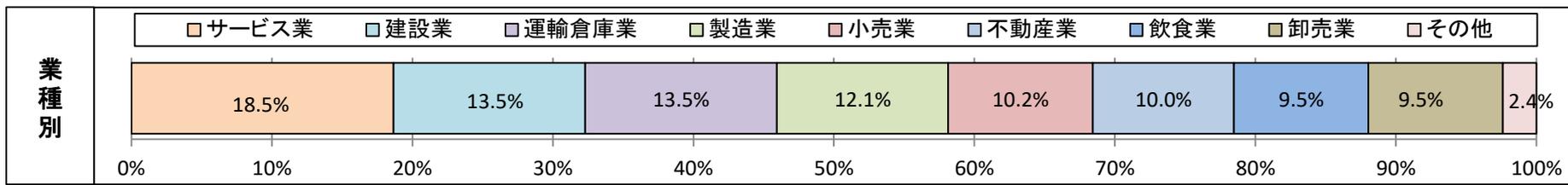
※複数回答可のため、合計は100%を超えています。

◇約5割の方が「資金繰りや資金調達の相談」と回答し、最も高い結果となりました。
当協会では、お客様からの資金繰り相談等も随時承っております。

◇続いて、3割超の方が「事業の将来性をより重視した対応」、「審査スピードの迅速化」と回答されました。
引き続き、適切かつ迅速な対応に努めさせていただきます。

3. 参考

ご回答頂いたお客さまの構成(業種、年商、従業員数、資本金)



このたびはご多忙中にもかかわらず、
アンケート調査にご協力いただき、
誠にありがとうございました。

横浜市信用保証協会は、
横浜経済の活力ある発展に貢献すべく、
今後とも皆さまとともに歩んでまいります。

